

経 営 状 況 報 告 書

平成30年7月

(公財) 高松観光コンベンション・ビューロー

目 次

平成30年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローの経営について

- I 平成30年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー事業計画書 ・・ 1
- II 平成30年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー予算書 ・・・・ 11

平成29年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローの事業報告及び決算について

- I 平成29年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー事業報告書 ・・ 17
- II 平成29年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー決算書 ・・・・ 29

※ この冊子は、再生紙を使用しています。

平成30年度

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローの経営について

1 平成30年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー事業計画書

平成30年4月 1日から

平成31年3月31日まで

1 事業運営方針

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローは、観光客及びコンベンションの誘致、サポート高松のにぎわい創出を中心に活動を行い、高松市及び香川県の経済活性化はもとより、国際会議観光都市・高松のイメージアップ、国際的知名度及び情報発信機能の向上に取り組んでいる。

コンベンション誘致に関しては、現在、高松市を含め80の都市で推進組織を設けており、首都圏を中心に誘致活動を展開している。中でも地方都市の6地区が連携して実施している共同誘致事業は、情報発信や情報収集など効率が良く、組織力を発揮している。また、単独での取組では、国際会議の誘致を始め、全国大会や学会等の主催者に対する誘致活動及び、国際会議及び企業コンベンション誘致支援事業を強化し、香川県MICE誘致推進協議会と連携を図りながら、更なるコンベンションを中心としたMICEの誘致に取り組む。

観光部門では、高松空港発着の航空便の充実強化は、観光産業にとって観光客増加の絶好の機会であることから、県市や賛助会員と緊密に連携し団体旅行の誘致、国内外からの来訪者に対する受入環境の整備を図り、これまで以上に他地域との差別化を図ることで、観光客の誘客に取り組む。また、彦根市、水戸市等との都市間観光交流事業を引き続き推進するとともに、サポート高松を拠点としたにぎわい創出事業に、県市や関係者と連携して取り組んでいく。

このような方針のもと、引き続き、21世紀の基幹産業とも言われる観光・コンベンション事業を積極的に推進するため、次の事業を実施する。

(1) 国際会議等の誘致及び支援などコンベンションを推進する事業

国際会議等の誘致の促進及び開催の円滑化等による国際観光の振興に関する法律に基づき、高松市は、国際会議観光都市に認定されていることから、本法律の目的を達するための国際会議等の推進を始め、全国大会等の誘致、支援等を通じ、地域経済の活性化及び文化の向上に寄与するコンベンションを推進する事業を実施する。

(2) コンベンション開催支援補助金交付事業

国際会議、全国大会等の誘致及び誘致支援を促進するため、開催支援補助金を交付する事業を実施する。

(3) 観光客等の誘致及び受入れなど観光を振興する事業

観光は、地域経済の活性化、雇用の機会の増大等地域経済のあらゆる領域にわたりその発展に寄与するとともに、健康の増進、潤いのある豊かな生活環境の創造等を通じて市民生活の安定向上に貢献するものであることに加え、国内外の相互理解を増進するものであることから、高松市及び香川県の有する文化的、社会的、経済的特性を生かし、観光客の誘致や受入れを通じ、地域経済の活性化や国際相互理解の増進など、観光の振興に寄与する事業を実施する。

(4) 新たな観光資源開発のための旅行業法に基づく旅行業

高松市及び隣接自治体（岡山県玉野市を除く）（以下、「高松市等」と言う。）の新たな観光

資源を掘り起こし、高松市等の新たな魅力の創造を図るため、これらを活用した企画開発、並びに利用者による情報発信を促す。

(5) サンポート高松のにぎわいを創出する事業

サンポート高松に、人、物、情報等を集めることによりにぎわいを創出し、国際交流及び情報化の推進、産業の振興並びに都市機能の活性化を図る事業を実施する。

(6) 高松市及び香川県への旅行者の利便の増進並びに観光資源開発のための観光案内所の運営・管理の受託

高松市に来訪する旅行者に対し、観光案内その他旅行に関する情報提供等を行い、旅行者の利便の増進に資することを目的として設置された同施設について、旅行者が快適に高松市及び香川県の滞在を行えるよう情報提供を行うことは、当財団の公益目的事業の一環であるとともに、これに積極的に努めることで、高松市及び香川県のイメージアップにつながることで、国籍や目的地の調査など新たな観光資源の開発に役立つことから、(公社)香川県観光協会よりこれを受託し、管理運営する事業を実施する。

(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 具体的な事業計画内容

(1) 国際会議等の誘致及び支援などコンベンションを推進する事業

ア コンベンション誘致事業

現在、全国53か所の国際会議観光都市が選定され、世界はもとより、日本国内においても、国際会議等の誘致における都市間競争が激化している。このような状況の下、地域経済の発展のため積極的に誘致活動を展開する。

(ア) コンベンション主催団体等に対する誘致訪問

a 首都圏等主催事務局

(a) 開催情報収集及び開催支援情報発信の訪問

訪問先：学術会議・大会本部・大学・旅行会社・企業等の主催事務局

訪問地：首都圏・中部・関西・中国地区

(b) 有力主催者等へのトップセールス

開催決定が有力視される主催者への県・市・当財団理事クラスの訪問

(c) 国際会議企業ブースへの出展

b 四国内の大学

(a) 開催情報収集及び開催支援情報発信の訪問

四国内の大学の主催者にも、高松市で開催を検討いただけるよう情報を発信し、開催件数の増加を図る。

訪問地：徳島・高知・愛媛の各大学

(イ) 地元主催者等に対する誘致訪問

訪問先：学術会議・大会・大学各部・組織団体・協会等の支部事務局

(ウ) 共同誘致事業

a 6地区コンベンション関連団体合同誘致セミナー

(新潟・松本・びわこ・和歌山・高松・長崎)

b I ME (国際MICEエキスポ) への出展

c 5都市情報交換会 (盛岡・金沢・静岡・高松・宮崎)

d 中国四国コンベンション誘致推進協議会

- e 四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会
- f 韓国 国際会議主催者セミナー
- g V J T M－M I C E マートへの出展
- h シンガポール 国際会議主催者セミナー
- i 香川県M I C E誘致推進協議会との連携

イ コンベンション誘致支援事業

高松市及び香川県でコンベンションの開催の意向がある団体等に対し、誘致手法に関する相談や、開催計画の提案や代行、M I C E ツアーを始めとする視察の受入れ、国際会議・企業コンベンション誘致支援事業等を行うことで、高松市及び香川県での開催を促す。

- (ア) 主催者等招請事業及び視察受入れ
- (イ) 国際会議・企業コンベンション誘致支援事業
- (ウ) 開催企画書の作成代行、テンプレート提供
- (エ) 誘致イベント（M I C E ツアー）の開催

ウ コンベンション開催支援事業

高松市及び香川県で開催予定のコンベンション主催者に対し、コンベンション・コンシェルジュとして準備から開催までのノウハウの提供、コンベンション運営スタッフの紹介（無料職業紹介事業）等を行い、主催者の開催を補助するとともに、参加者に対して、各種観光パンフレットなどの情報提供並びに利便性の向上を図る。

- (ア) コンベンション・コンシェルジュとして主催者支援
 - a 会場予約・施設利用調整等
 - b 行政など関係機関との調整（後援、メッセージ等）
 - c ユニークベニュー、アフターコンベンション等の提案
- (イ) コンベンション運営スタッフ紹介事業（無料職業紹介事業）
- (ウ) 観光パンフレット等各種参加者支援

エ 広報宣伝事業

インターネットを活用した情報発信や専門誌等に対する広告を行うことで、高松市及び香川県のコンベンション施設や支援制度を紹介し、コンベンションの開催を促す。

- (ア) 団体、賛助会員に対する啓発・周知
- (イ) 専門誌等への広告
- (ウ) ホームページの充実による情報発信の強化

オ コンベンション情報収集提供事業

誘致事業等により得られたデータを整理し、コンベンション開催予定表を作成し、広く一般に周知する。また、自らが、主催者及び参加者にアンケート調査を行い、コンベンションがもたらす経済波及効果を試算及び公表をする。加えて、これまで蓄積した主催者情報並びに大会情報データベースを活用し、コンベンション誘致活動をより一層効率的に実施できるよう努める。

- (ア) 開催情報のデータ整備
- (イ) 統計書作成・経済波及効果・アンケート調査の実施
- (ウ) コンベンションカレンダーの作成と提供
- (エ) 日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（J C C B）ビューロー部会への参加
- (オ) 主催者情報・大会情報データベースの整備

(2) コンベンション開催支援補助金交付事業

ア 国際会議等

国際会議等とは、学術、文化、技術等の向上発展を図ることを目的とする団体が主体となって開催する学術、文化、技術等の研究の発表又は討論のための国際的な会議、スポーツ大会又はこれらに準ずるものをいう。

(ア) 補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・高松市又は近隣町（三木町、直島町、綾川町）で開催されるもの
- ・県外参加者の延べ宿泊数（高松市又は近隣町に宿泊）が50泊以上あるもの
- ・全参加者のうち外国人参加者（海外から参加する外国人）の占める割合が20%以上のもの
- ・プログラム、抄録集等に当財団の補助事業であることを明記するもの
- ・主催者アンケート（1枚）、参加者アンケート（10枚）を提出するもの

(イ) 補助金額

補助金額は、次に掲げる項目の合算額とする。なお、補助金額は理事長が認める事業費の25%以内の額とする。

a 宿泊助成額

- ・県外参加者の延べ宿泊数×2,000円
- ・延べ宿泊数は、高松市又は近隣町にある賛助会員宿泊施設の宿泊数とする。
- ・開催期間中及び前後泊を対象とする。
- ・最高限度額 500万円

b エクスカーション助成金

- ・大会等の主催者が計画し、実施する視察旅行で、高松市内の観光施設等を2か所以上訪問するもの
- ・賃借した台（隻）数に3万円を乗じた額又は賃借料の2分の1の額のどちらか低い方
- ・1千円未満切捨て
- ・最高限度額 30万円

イ 国内大会・国内学会等

国内大会等とは、会議、集会、セミナー等をいう。また、国内学会とは学者により構成され、学術研究の向上発展を図ることを目的とする団体が主体となって開催する学術研究の発表又は討論のための会議、集会、セミナー又はこれに準ずるものをいう。

(ア) 補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・高松市又は近隣町（三木町、直島町、綾川町）で開催されるもの
- ・県外参加者の延べ宿泊数（高松市又は近隣町に宿泊）が100泊以上あるもの
- ・香川県を含む3県以上から参加があるもの
- ・プログラム、抄録集等に当財団の補助事業であることを明記するもの
- ・主催者アンケート（1枚）、参加者アンケート（10枚）を提出するもの

(イ) 補助金額

補助金額は、次に掲げる項目の合算額とする。なお、補助金額は理事長が認める事業費の25%以内の額とする。

- a 運営費助成額
 - ・ 20万円。ただし、賛助会員の開催関係事業者のうち、3業種以上を利用したものに限る。
- b 宿泊助成額
 - ・ 県外参加者の延べ宿泊数×500円
 - ・ 延べ宿泊数は、高松市又は近隣町にある賛助会員宿泊施設の宿泊数とする。
 - ・ 開催期間中及び前後泊を対象とする。
 - ・ 1千円未満切捨て
 - ・ 最高限度額 全国規模180万円、その他規模80万円
 - ・ 全国規模とは、香川県を含む30都道府県以上からの参加若しくは県外参加者の延べ宿泊数が1,000泊以上あるものをいう。
 - ・ その他規模とは、香川県を含む3県以上から参加があるものをいう。
- c エクスカーション助成金
 - ・ 大会等の主催者が計画し、実施する視察旅行で、高松市内の観光施設等を2か所以上訪問するもの
 - ・ 賃借した台（隻）数に3万円を乗じた額又は賃借料の2分の1の額のどちらか低い方
 - ・ 1千円未満切捨て
 - ・ 最高限度額 30万円

ウ スポーツ大会

スポーツ大会とは、その大会が行う競技の振興及び発展を目的とする競技団体又はその下部組織が主催、共催、後援等を行う大会をいう。

（ア）補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・ 香川県内で開催されるもの
- ・ 県外参加者の延べ宿泊数（高松市又は近隣町に宿泊）が100泊以上あるもの
- ・ 香川県を含む3県以上から参加があるもの
- ・ プログラム、抄録集等に当財団の補助事業であることを明記するもの
- ・ 主催者アンケート（1枚）、参加者アンケート（10枚）を提出するもの

（イ）補助金額

補助金額は、次に掲げる項目の合算額とする。なお、補助金額は理事長が認める事業費の25%以内の額とする。

- a 運営費助成額
 - ・ 20万円。ただし、賛助会員の開催関係事業者のうち、3業種以上を利用したものに限る。
- b 宿泊助成額
 - ・ 県外参加者の延べ宿泊数×500円
 - ・ 延べ宿泊数は、高松市又は近隣町にある賛助会員宿泊施設の宿泊数とする。
 - ・ 開催期間中及び前後泊を対象とする。
 - ・ 1千円未満切捨て
 - ・ 最高限度額 全国規模80万円、その他規模30万円
- c エクスカーション助成金

- ・大会等の主催者が計画し、実施する視察旅行で、高松市内の観光施設等を2か所以上訪問するもの
- ・賃借した台（隻）数に3万円を乗じた額又は賃借料の2分の1の額のどちらか低い方
- ・1千円未満切捨て
- ・最高限度額 30万円

エ 企業コンベンション

企業コンベンションとは、企業が主催するもので、インセンティブ、各種セミナー、スポーツ大会、体験学習などの関連会議などで営利を目的としない諸行事又はこれに準ずるものをいう。

（ア）補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・高松市又は近隣町（三木町、直島町、綾川町）で開催されるもの
- ・県外参加者の延べ宿泊数（高松市又は近隣町に宿泊）が50泊以上あるもの
- ・主催者アンケート（1枚）、参加者アンケート（10枚）を提出するもの

（イ）補助金額

補助金額は、次に掲げる項目の合算額とする。なお、補助金額は理事長が認める事業費の25%以内の額とする。

a 運営費助成額

- ・20万円。ただし、賛助会員の開催関係事業者のうち、3業種以上を利用したものに限る。

b 宿泊助成額

- ・県外参加者の延べ宿泊数×500円
- ・延べ宿泊数は、高松市又は近隣町にある賛助会員宿泊施設の宿泊数とする。
- ・開催期間中及び前後泊を対象とする。
- ・1千円未満切捨て
- ・最高限度額 80万円

オ 教育旅行

教育旅行とは、学校等が主催するもので、見学、体験学習などの諸行事又はこれに準ずるものをいう。

（ア）補助要件

補助対象は、次に掲げる項目を満たすものとする。

- ・高松市又は近隣町（三木町、直島町、綾川町）で開催されるもの

（イ）補助金額

補助金額は、次に掲げる額とする。なお、補助金額は理事長が認める事業費の25%以内の額とする。

a 宿泊助成額

- ・県外参加者の延べ宿泊数×1,000円
- ・延べ宿泊数は、高松市又は近隣町にある賛助会員宿泊施設の宿泊数とする。
- ・開催期間中を対象とする。
- ・最高限度額 100万円

カ 合宿等

合宿等とは、各種競技団体、学校などが技術向上や交流等を目的に開催するスポーツや文化活動等営利を目的としないものをいう。

(ア) 補助要件

補助対象は、次に掲げる項目のすべてを満たすものとする。

- ・香川県内で開催されるもの
- ・県外参加者の延べ宿泊数（高松市又は近隣町に宿泊）が100泊以上あるもの
- ・主催者アンケート（1枚）、参加者アンケート（10枚）を提出するもの

(イ) 補助金額

補助金額は、次に掲げる額とする。

a 宿泊助成額

- ・県外参加者の延べ宿泊数×300円
- ・延べ宿泊数は、高松市又は近隣町にある賛助会員宿泊施設の宿泊数とする。
- ・開催期間中及び前後泊を対象とする。
- ・1千円未満切捨て
- ・最高限度額 50万円

キ ア～カの補助要件等に関わらず、次のいずれかに該当するものについては、補助金を交付しない。

- ・国若しくは地方公共団体が主催又は共催（名義共催は除く。）するもの
- ・高松市から補助金が交付されるもの
- ・宗教及び政治的活動を目的とするもの
- ・不特定多数の参加者から入場料を徴収するもの
- ・その他、理事長が不相当と認めるもの

(3) 観光客等の誘致及び受入れなど観光を振興する事業

ア 観光客等誘致及び受入事業

県外及び国外に対し、高松市の観光資源等のPRを行うとともに、県外に対しては、各種観光キャンペーンへの参画、姉妹都市・交流都市との都市交流事業等の実施、国内観光旅行や教育旅行、合宿の誘致活動を実施する。また、国外に対しては、香川県、高松市と連携し、訪日外国人旅行者の誘客に取り組むとともに、観光庁が展開する訪日旅行促進事業であるビジット・ジャパン事業の地方連携事業に参画し、四国運輸局、四国内のコンベンション推進団体とともに、海外からの誘客に取り組む。加えて、これら活動の効果を高めるため、国内外の旅行エージェントに対し、送客実績に応じた団体旅行補助金を交付する。

(ア) 国内観光客誘致事業

- a ツーリズムEXPOジャパン観光キャンペーン事業
- b 都市交流事業（彦根市（姉妹城都市）・水戸市（親善都市）等）
- c 四国観光商談会（東京・大阪・名古屋）
- d お城EXPO事業

(イ) 訪日外国人旅行者誘致事業

- a VJ韓国教育旅行招請事業（VJ地方連携事業）
- b VJ香港MICE取扱旅行社招請事業（VJ地方連携事業）
- c VJアメリカ富裕層誘客促進事業（VJ地方連携事業）

- d 訪日視察・取材受入れ事業
- e 訪日教育旅行誘致訪問（地方連携事業）
- f 訪日外国人旅行者誘致推進事業
- g 瀬戸内4県都市長会事業
- h 台湾教育旅行誘致事業

（ウ）団体旅行誘致事業補助金

高松市又は近隣町（三木町、直島町、綾川町）に1泊以上の宿泊を伴う旅行の募集型・受注型団体旅行商品（以下「団体旅行」という。）に対し、観光客の誘致拡大を目的に助成要件を満たす団体旅行にバス助成金を交付する。

イ 観光イベント等振興事業

各種観光パンフレットの作成及び配布、さぬき高松まつり等地元観光イベントに参画し、観光客の受入れ体制の充実を図るとともに、電動アシスト自転車の主要観光地への整備、手荷物の一時預かり等を行い、観光客の利便性の向上を図る。また、瀬戸内海を観光資源として捉え、魅力ある瀬戸内海クルージングを実施する民間事業者を支援することにより、瀬戸内海に面した優位性を生かした観光振興を図る。

- （ア）観光パンフレット等作成
- （イ）さぬき高松まつり
- （ウ）屋島山上初日来迎式
- （エ）観光レンタサイクル（電動）事業（男木島、仏生山、塩江、八栗）
- （オ）手ぶら観光推進事業
- （カ）瀬戸内海サンセットクルージング事業の支援

ウ 広報宣伝事業

高松市の支店経済の特性を生かし、企業の支店長等を高松市観光大使として委嘱し、高松市の良さをPRする事業のサポート、各種観光行事及び公的諸行事において観光宣伝を行う高松ゆめ大使及び高松特別ゆめ大使事業、観光名刺の販売事業等、各種事業を通じて、高松市の知名度アップやイメージアップを図る。

- （ア）高松市観光大使事業
- （イ）高松ゆめ大使・高松特別ゆめ大使事業
- （ウ）観光名刺販売事業

エ 調査企画事業

高松市の観光振興を図るため、高松市単独ではなく、近隣市町との連携が必要不可欠であることから、近隣市町の関係機関と連携した協議会に参画し、共同事業等の実施に向けた検討を行う。

- （ア）東備讃瀬戸観光懇談会（玉野市、高松市、土庄町、直島町）
- （イ）四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会

（４）新たな観光資源開発のための旅行業法に基づく旅行業

ア 着地型（募集型企画）旅行商品の造成・販売

地域経済の活性化に寄与するため、第3種旅行業の資格を活用し、着地型旅行（ぶち旅プラン）の企画及び実施を行う。また、モデルコースの充実を図り個人客の誘客や他県からの団体造成の促進に努める。

(5) サンポート高松のにぎわいを創出する事業

ア サンポートのにぎわい創出事業

サンポート高松において、イベントを実施したい民間団体・企業等に対し、イベント等に関する相談や実施に向けた協力、トラブルになりやすい警備や交通関係のアドバイスをを行うとともに、毎年、イベントアイデアを公募するなど、イベント件数や来場者の増加に寄与することで、サンポート高松のにぎわいを創出する。

(ア) 民間団体等主催のイベント募集及び共催等開催支援事業

(イ) ふれあいコンサート

イ 広報宣伝事業

ホームページ、電子メール、機関紙によりイベントカレンダーの情報を発信するとともに、近県で発行される情報誌や新聞に、サンポート高松の情報を掲載し、サンポート高松のイメージアップや知名度向上を行う。

(ア) ホームページ等を活用した情報提供事業

(イ) サンポート高松を中心とした広告宣伝事業

ウ 調査企画事業

イベント等参加者に対する来場者アンケートの実施等サンポート高松のにぎわい創出に必要な問題点の検討等を行う。

(6) 観光案内所（香川・高松ツーリストインフォメーション）の運営・管理の受託

（公社）香川県観光協会より本案内所の運営業務を受託し、高松市及び香川県内を主とした観光案内を行うほか、宿泊案内、周辺地域及び全国の観光案内、交通機関等の各種案内に関する情報を提供することにより、本県を訪れる観光客等の利便性を図り、さらなる満足度を高めるとともに、観光客のニーズを的確に把握し、観光資源開発に活用する。

また、観光圏整備法第10条に基づく認定観光圏案内所への登録や、J N T O認定外国人観光案内所 カテゴリー3（常時英語による対応が可能。その上で、英語を除く2以上の言語での案内が常時可能な体制がある。全国レベルの観光案内を提供。原則年中無休。W i f i あり。ゲートウェイや外国人来訪者の多い立地。）に登録されたことから、日本語のほか、3か国語に対応できるよう従事者を配置し、近年増加している訪日外国人旅行者への対応を行う。

- ・場所 JR 高松駅内
- ・運営日 毎日（年中無休）
- ・開所時間 9：00～20：00
- ・対応言語 日本語・英語・中国語・韓国語

(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

ア 各種会議の開催

(ア) 評議員会

(イ) 理事会

(ウ) その他、評議員・役員に関すること

イ 賛助会員

(ア) 賛助会員総会の開催

(イ) 賛助会員賀詞交歓会の開催

- (ウ) 賛助会員名簿等の整備
- (エ) 賛助会員加入促進
- (オ) その他賛助会員に関すること
- ウ その他財団の必要なこと
 - (ア) 経理業務
 - (イ) 処務業務
 - (ウ) 事務所維持管理
 - (エ) インターネットを活用した広報及び情報提供
 - (オ) 職員研修の実施
 - (カ) 機関紙の発行
 - (キ) その他

Ⅱ 平成３０年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー予算書

１ 収 支 予 算 書

(平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで)

(単位：千円)

科 目	当年度予算	前年度当初予算	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	4,915	4,915	0	
(2) 会費収入				
賛助会員会費収入	7,500	7,500	0	
(3) 事業収入				
広告等収入	372	372	0	
使用料収入	120	120	0	
参加料収入	600	600	0	
旅行商品販売収入	576	576	0	
物品等販売収入	1,000	1,000	0	
(4) 補助金等収入				
香川県補助金収入	9,200	9,200	0	
高松市補助金収入	93,927	100,203	△6,276	
開催支援補助金事業収入	31,000	30,000	1,000	
(5) 受託事業収入				
受託事業収入	17,750	17,600	150	
(6) 特定資産運用収入				
退職給付引当金運用収入	10	10	0	
(7) 雑収入				
雑収入	6	6	0	
事業活動収入計	166,976	172,102	△5,126	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費				
コンベンション推進事業費	16,511	23,464	△6,953	
開催支援補助金事業費	31,000	30,000	1,000	
観光客誘致事業費	16,287	14,973	1,314	
観光振興事業費	5,491	6,790	△1,299	
旅行業事業費	1,330	1,335	△5	
にぎわい創出事業費	3,669	4,377	△708	
観光施設管理運営事業費	17,750	17,600	150	
人件費	29,885	26,118	3,767	
(2) 管理費				
役員報酬	4,863	3,936	927	
人件費	21,557	24,307	△2,750	
法人管理運営費	18,333	18,902	△569	
事業活動支出計	166,676	171,802	△5,126	
事業活動収支差額	300	300	0	

(単位：千円)

科 目	当年度予算	前年度当初予算	増 減	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 退職給付引当預金積立収入	1,000	1,982	△982	
投資活動収入計	1,000	1,982	△982	
(2) 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	1,000	1,982	△982	
Ⅲ 財務活動の部				
1. 財務活動収入				
(1) 借入金収入				
短期借入金収入	4,000	4,000	0	
財務活動収入計	4,000	4,000	0	
2. 財務活動支出				
(1) 借入金返済支出				
短期借入金返済支出	4,000	4,000	0	
長期借入金返済支出	300	300	0	
(2) 退職給付引当金組戻支出	1,000	1,982	△982	
財務活動支出計	5,300	6,282	△982	
財務活動収支差額	△1,300	△2,282	982	
Ⅳ 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

２ 正 味 財 産 増 減 予 算 書

(平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで)

(単位：千円)

科 目	当年度予算	前年度当初予算	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	4,930	4,930	0
特定資産運用益			
退職給付引当金運用益	10	10	0
受取会費			
受取賛助会員会費	7,500	7,500	0
事業収入			
広告料収入	372	372	0
使用料収入	120	120	0
参加料収入	600	600	0
旅行業販売収入	576	576	0
物品販売収入	1,000	1,000	0
受取補助金等			
受取香川県補助金	9,200	9,200	0
受取高松市補助金	93,927	100,203	△6,276
受取開催支援事業補助金	31,000	30,000	1,000
受託事業収入			
観光施設管理運営事業収入	17,750	17,600	150
雑収入			
雑収入	6	6	0
経常収益計	166,991	172,117	△5,126
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	27,363	27,497	△134
臨時雇賃金等	8,008	4,728	3,280
福利厚生費	5,257	4,923	334
会議費	381	736	△355
旅費交通費	5,387	6,048	△661
報酬	597	718	△121
報償費	1,031	1,186	△155
通信運搬費	184	151	33
消耗品費	875	690	185
印刷製本費	6,093	6,684	△591
賃借料	535	684	△149
支払負担金	17,929	17,718	211
支払補助金	37,055	37,075	△20
広告宣伝費	1,247	1,683	△436
委託料	6,161	10,479	△4,318
仕入費	1,881	1,881	0
修繕費	54	54	0
保険料	14	15	△1
租税公課	904	847	57
諸会費	301	300	1
新聞図書費	156	156	0
支払手数料	121	121	0
支払利息	4	9	△5

(単位：千円)

科 目	当年度予算	前年度当初予算	増 減
雑費	103	274	△171
減価償却費	817	359	458
賞与引当金繰入	241	241	0
管理費			
役員報酬	4,863	3,936	927
給料手当	15,962	17,486	△1,524
福利厚生費	3,504	3,752	△248
会議費	1,048	1,051	△3
報酬	23	23	0
通信運搬費	1,964	2,006	△42
消耗品費	808	808	0
印刷製本費	476	476	0
賃借料	10,721	11,144	△423
諸会費	748	780	△32
支払負担金	50	50	0
委託料	679	460	219
光熱水費	1,431	1,322	109
燃料費	100	150	△50
保険料	172	356	△184
租税公課	10	161	△151
退職給付費用	1,000	1,982	△982
新聞図書費	96	108	△12
支払手数料	7	7	0
減価償却費	424	547	△123
賞与引当金繰入	1,090	1,090	0
経常費用計	167,875	172,952	△5,077
評価損益等調整前当期経常増減額	△884	△835	△49
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△884	△835	△49
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△884	△835	△49
一般正味財産期首残高	8,657	7,164	1,493
一般正味財産期末残高	7,773	6,329	1,444
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用損益	15	15	0
一般正味財産への振替額	△15	△15	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	542,906	542,906	0
指定正味財産期末残高	542,906	542,906	0
III 正味財産期末残高	550,679	549,235	1,444

3 正 味 財 産 増 減 予 算 書 (内訳表)

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位：千円)

科目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	共通		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益									
基本財産受取利息	1,725		1,795				1,410		4,930
特定資産運用益									
退職給付引当金運用益								10	10
受取会費									
受取賛助会員会費	2,500		2,500				2,500		7,500
事業収入									
広告料収入	80							292	372
使用料収入			120						120
参加料収入								600	600
旅行業販売収入				576					576
物品販売収入	500		500						1,000
受取補助金等									
受取香川県補助金	3,882				1,772		3,546		9,200
受取高松市補助金	7,829		16,868	1,054	1,897		22,434	43,845	93,927
受取開催支援事業補助金		31,000							31,000
受託事業収入									
観光施設管理運営事業収入						17,750			17,750
雑収入									
雑収入								6	6
経常収益計	16,516	31,000	21,783	1,630	3,669	17,750	29,890	44,753	166,991
(2) 経常費用									
事業費									
給料手当						3,450	23,913		27,363
臨時雇賃金等						6,933	1,075		8,008
福利厚生費						642	4,615		5,257
会議費	70		310	1					381
旅費交通費	3,226		2,041			120			5,387
報酬	89		434		74				597
報償費			1,031						1,031
通信運搬費						184			184
消耗品費	810					65			875
印刷製本費	2,996		855	827	1,415				6,093
賃借料	166		364		5				535
支払負担金	5,646		10,283		2,000				17,929
支払補助金	1,305	31,000	4,700		50				37,055
広告宣伝費	813		329		105				1,247
委託料	159		652			5,350			6,161
仕入費	729		676	476					1,881
修繕費						54			54
保険料			3	11					14
租税公課						904			904
諸会費	301								301
新聞図書費	108					48			156
支払手数料	10		100	11					121
支払利息				4					4
雑費	83				20				103
減価償却費	747	14	28	14	14				817
賞与引当金繰入							241		241

(単位：千円)

科目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公 1	公 2	公 3	公 4	公 5	公 6	共通		
管理費									
役員報酬								4,863	4,863
給料手当								15,962	15,962
福利厚生費								3,504	3,504
会議費								1,048	1,048
報酬								23	23
通信運搬費								1,964	1,964
消耗品費								808	808
印刷製本費								476	476
賃借料								10,721	10,721
諸会費								748	748
支払負担金								50	50
委託料								679	679
光熱水費								1,431	1,431
燃料費								100	100
保険料								172	172
租税公課								10	10
退職給付費用								1,000	1,000
新聞図書費								96	96
支払手数料								7	7
減価償却費								424	424
賞与引当金繰入								1,090	1,090
経常費用計	17,258	31,014	21,806	1,344	3,683	17,750	29,844	45,176	167,875
評価損益等調整前当期経常増減額	△742	△14	△23	286	△14	0	46	△423	△884
投資有価証券評価損益等									0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△742	△14	△23	286	△14	0	46	△423	△884
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									0
経常外収益									0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									0
経常外費用									0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額									0
当期一般正味財産増減額	△742	△14	△23	286	△14	0	46	△423	△884
一般正味財産期首残高	4,165	28	672	2,428	28	0	△521	1,857	8,657
一般正味財産期末残高	3,423	14	649	2,714	14	0	△475	1,434	7,773
II 指定正味財産増減の部									
基本財産運用損益	5		5				5		15
一般正味財産への振替額	△5		△5				△5		△15
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	180,968	0	180,968	0	0	0	180,970	0	542,906
指定正味財産期末残高	180,968	0	180,968	0	0	0	180,970	0	542,906
III 正味財産期末残高	184,391	14	181,617	2,714	14	0	180,495	1,434	550,679

平成29年度

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローの事業報告及び決算について

I 平成29年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー事業報告書

平成29年4月 1日から

平成30年3月31日まで

1 概要

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローは、人・物・情報が活発に交流する個性と魅力ある都市づくりのため、観光客及びコンベンションの誘致を始め、観光とコンベンションを「有機的総合的」に展開し得る事業の取組を行ってきたほか、サンポート高松のにぎわい創出についても鋭意取組を進めてきた。

コンベンション推進部門では、首都圏等大都市圏のMICE（国内・国際）キーパーソンに対し、大会情報の収集や施設機能及び支援制度の説明など継続的に誘致活動を展開してきた。中でも地方都市の6都市が連携して実施している共同誘致事業や、IME（国際MICEエキスポ）への出展では、情報の発信や収集など効率良く組織力を発揮した誘致活動を展開することができた。また、日本政府観光局（JNTO）と共同で出展する韓国国際会議主催者セミナーや韓国インセンティブセミナーなどの国際会議等の誘致活動をはじめ、旅行会社や大会運営会社等向けの国際会議等及び企業コンベンション誘致に対する支援事業の実施など、高松市及び近隣町でのMICE開催につながる事業展開を行うことができた。

観光部門では、訪日外国人旅行者の増加や高松空港発着の航空便の充実強化に伴い、香川県や高松市を始めとした関係機関とともに誘致活動を実施し、多くの観光客の来高につなげることができた。また、彦根市、水戸市、由利本荘市との都市交流事業、各種観光キャンペーンへの参画などの各種観光振興事業、第3種旅行業商品の「ぷち旅プラン」を造成したほか、瀬戸内海クルーズ事業を実施する民間事業者を支援するなど、高松市の観光振興につながる事業展開を行うことができた。

サンポート高松のにぎわい創出部門では、イベントアイデア募集事業を始めとする民間団体・企業等のイベントの支援を行うことで、年間を通じて多彩なイベントが開催され、にぎわいの創出に寄与できた。

具体的には、コンベンション推進、観光振興、サンポート高松のにぎわい創出など、関係機関・各種団体と連携を密にし、以下の諸事業を実施した。

（1）国際会議等の誘致及び支援などコンベンションを推進する事業

国際会議等の誘致の促進及び開催の円滑化等による国際観光の振興に関する法律に基づき、高松市は、国際会議観光都市に認定されていることから、本法律の目的を達するための国際会議等の推進を始め、全国大会等の誘致及び支援等を通じ、地域経済の活性化及び文化の向上に寄与するコンベンションを推進する事業を実施した。

（2）コンベンション開催支援補助金交付事業

国際会議や全国大会等の誘致及び誘致支援を促進するため、開催支援補助金を交付する事業を実施した。

（3）観光客等の誘致及び受入れなど観光を振興する事業

観光は、地域経済の活性化、雇用の機会の増大等地域経済のあらゆる領域にわたりその発展に寄与するとともに、健康の増進、潤いのある豊かな生活環境の創造等を通じて市民生活の安定向上に貢献するものであることに加え、国内外の相互理解を増進するものであ

ることから、高松市及び香川県の有する文化的、社会的、経済的特性を生かし、観光客の誘致や受入れを通じ、地域経済の活性化や国際相互理解の増進など、観光の振興に寄与する事業を実施した。

(4) 新たな観光資源開発のための旅行業法に基づく旅行業

高松市及び隣接自治体（岡山県玉野市を除く）（以下「高松市等」と言う。）の新たな観光資源を掘り起こし、高松市等の新たな魅力の創造を図るため、これらを活用した企画開発並びに利用者による情報発信を実施した。

(5) サンポート高松のにぎわいを創出する事業

サンポート高松に人・物・情報を集めることによりにぎわいを創出し、国際交流及び情報化の推進、産業の振興並びに都市機能の活性化を図る事業を実施した。

(6) 高松市及び香川県への旅行者の利便の増進並びに観光資源開発のための観光案内所の運営・管理の受託

高松市に来訪する旅行者に対し、観光案内その他旅行に関する情報提供等を行い、旅行者の利便の増進に資することを目的として設置された同施設について、旅行者が快適に高松市及び香川県の滞在を行えるよう情報提供を行うことは、当財団の公益目的事業の一環であるとともに、これに積極的に努めることで、高松市及び香川県のイメージアップにつながることで、国籍や目的地の調査など新たな観光資源の開発に役立つことから、(公社)香川県観光協会よりこれを受託し、管理運営する事業を実施した。

(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 事業の内容

(1) 国際会議等の誘致及び支援などコンベンションを推進する事業

ア コンベンション誘致事業

現在、全国53か所の国際会議観光都市が選定され、世界はもとより、日本国内においても、国際会議等の誘致における都市間競争が激化している。このような状況の下、地域経済の発展のため積極的に誘致活動を展開した。

(ア) コンベンション主催団体等に対する誘致訪問

a 首都圏等の学術・学会・大学・旅行会社・企業等の主催事務局

10回 128団体

b 四国内の大学

4回 11大学等

(イ) 地元主催者等に対する誘致訪問

a 県内における大会関係者など誘致訪問

随時 23団体

b 小・中・高校長会での開催支援制度説明

7月 2回

(ウ) 共同誘致事業

a 6地方都市コンベンション関連団体合同誘致活動
(新潟・松本・びわこ・和歌山・高松・長崎)

7回 209団体

b I M E (国際M I C E エキスポ)

2月 東京

c 5都市共同誘致懇談会 (盛岡・金沢・静岡・高松・宮崎)

2月 東京

d 中国四国コンベンション誘致推進協議会

7月 松山

3月 広島

e	四国地区観光コンベンション情報交換会	8月	高知
		3月	松山
f	韓国 国際会議主催者セミナー	6月	ソウル
g	韓国 インセンティブセミナー	9月	ソウル
h	V J T M-M I C E マート	9月	東京
i	香川県M I C E 誘致推進協議会との連携		
イ	コンベンション誘致支援事業		
	高松市及び香川県でコンベンションの開催の意向がある団体等に対し、誘致手法に関する相談や開催計画の提案、視察の受入れ、企業コンベンション誘致支援事業等を行うことで、高松市及び香川県での開催を促した。		
	(ア) 主催者等招請事業及び視察受入	6回	14名受入れ
	(イ) 国際会議等キーパーソンの視察受入れ	2回	4名受入れ
	(ウ) 国際会議等・企業コンベンション誘致支援事業	企業	6件
	(エ) 誘致イベント (M I C E ツアー) の開催	4社	4名受入れ
ウ	コンベンション開催支援事業		
	高松市及び香川県で開催予定のコンベンション主催者に対し、準備から開催までのノウハウの提供等を行い、主催者の開催を補助するとともに、参加者に対して、各種観光パンフレットの配布による情報提供並びに利便性の向上を図った。		
	(ア) 会場予約・施設利用調整等主催者支援		
	(イ) 観光パンフレット等各種参加者支援		
	(ウ) コンベンション運営スタッフ紹介事業 (無料職業紹介事業)		
エ	広報宣伝事業		
	インターネットを活用した情報発信や業界誌に対する広告を行うことで、高松市及び香川県のコンベンション施設や支援制度を紹介し、コンベンションの開催を促した。		
	(ア) 市民、企業、団体、賛助会員等に対する啓発・周知		
	(イ) 業界誌への広告		
オ	コンベンション情報収集提供事業		
	誘致事業等により得られたデータを整理し、コンベンション開催予定表を作成し、広く一般に周知した。また、自らが、主催者及び参加者にアンケート調査を行い、コンベンションがもたらす経済波及効果を試算した。加えて、これまで蓄積した主催者情報並びに大会情報データを活用し、コンベンション誘致活動をより一層効率的に実践できるよう努めた。		
	(ア) コンベンションカレンダーの作成と提供		
	(イ) 統計書の作成及び経済波及効果の試算	平成28年度	約59億円
	(ウ) 主催者情報・大会情報データベースの整備		
	(エ) 日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー (J C C B) への参画		
		総会	6月 東京
		部会	7月 北見
			12月 高知

(2) コンベンション開催支援補助金交付事業

全国大会等開催補助金交付要綱を定め、次の国際会議等を開催支援補助金を交付した。

【補助金交付実績】()内は昨年度実績

国際会議等	8件	(5件)
国内大会	17件	(20件)
国内学会等	15件	(11件)
スポーツ大会	22件	(18件)
企業コンベンション	7件	(4件)
教育旅行	7件	(4件)
合宿等	34件	(33件)
計	110件	(95件)

(3) 観光客等の誘致及び受入れなど観光を振興する事業

ア 観光客等誘致及び受入れ事業

県外及び国外に対し、高松市の観光資源等のPRを行うとともに、県外に対しては、修学旅行を始めとした教育旅行や募集型・受注型団体等の誘致活動、各種観光キャンペーンへの参画、姉妹城都市・交流都市との都市交流事業等を実施した。

また、国外に対しては、観光庁が展開する訪日外国人旅行者の増加を目的としたビジット・ジャパン事業の地方連携事業に参画し、四国運輸局及び四国内のコンベンション推進団体と共同で韓国教育旅行や香港のMICEの誘致に取り組むとともに、香川県・高松市と共同で訪日外国人旅行者の誘致及び受入れ事業を実施した。

加えて、これら事業の効果を高め、団体旅行の送客を促進するため、国内外の旅行会社に対し、送客実績に応じた団体旅行誘致事業補助金を交付した。

(ア) 国内観光客誘致事業

- a ツーリズムEXPOジャパン観光キャンペーン事業 9月 東京
- b 都市交流事業 11月 彦根
- c 四国観光商談会 10月 大阪・名古屋

(イ) 訪日外国人観光客誘致事業

- a VJ韓国教育旅行招請事業(VJ地方連携事業) 11月 6名受入れ
- b VJ香港MICE取扱旅行社招請事業(VJ地方連携事業) 6月 5名受入れ
- c VJアメリカ・フランス富裕層誘客促進事業(VJ地方連携事業) 10月 5名受入れ
- d 訪日視察・取材・団体受入れ事業 11回 242名受入れ
- e 訪日教育旅行誘致訪問(地方連携事業) 12月 ソウル
- f 訪日観光客誘致推進事業
 - ・JNTO商談会 6月 ソウル
 - ・国外旅行博出展参画 6月 台中
 - ・四国インバウンドフェア 10月 高松
 - ・旅行会社誘致訪問 11月 香港

(ウ) 団体旅行誘致事業補助金

募集型・受注型団体旅行誘致促進事業助成金交付要綱を定め、次の募集型・受注型団体旅行に補助金を交付した。

【補助金交付実績】() 内は昨年実績

上半期	70件	(129件)
下半期	69件	(85件)
計	139件	(214件)

イ 観光イベント等振興事業

各種観光パンフレットの作成及び配布、さぬき高松まつり等地元観光イベントへの参加、また、手荷物預かりなどの利便性の向上に努めることにより、観光客の受入れ体制の充実を図り、高松市の観光振興を推進した。

(ア) 観光パンフレット等作成	さぬきうどん食べ歩きMAP	9月
(イ) さぬき高松まつり		8月
(ウ) 屋島山上初日来迎式		1月
(エ) さぬき高松ポンポコまつり		5月
(オ) 瀬戸内海クルージング事業の支援	4月～6月	425名参加
(カ) 観光レンタサイクル(電動)事業		1,997台
	男木7台・仏生山5台・塩江4台・八栗5台設置	
(キ) 手ぶら観光推進事業(JR高松駅前)		9,139件

ウ 広報宣伝事業

高松市の支店経済の特性を生かし、企業の支店長等を高松市観光大使として委嘱し、高松市の良さをPRする事業のサポート、各種観光行事及び公的諸行事において観光宣伝を行う高松ゆめ大使及び高松特別ゆめ事業、観光名刺の販売事業など各種事業を通じて、高松市の知名度アップやイメージアップを図った。

(ア) 高松市観光大使事業		
a 研修会(首都圏・関西)		11月
b たかまつ探訪(瀬戸内海ミュージッククルーズ)		7月
(イ) 高松ゆめ大使及び高松特別ゆめ大使事業	出務回数	54件
(ウ) 観光名刺販売事業		
(エ) 国立公園満喫プロジェクト展開事業		

エ 調査企画事業

高松市の観光振興を図るため、高松市単独ではなく、近隣市町等との連携が必要不可欠であることから、関係機関で組織する懇談会等に参画し、共同事業等の実施に向けた検討を行った。

(ア) 東備讃瀬戸観光懇談会(玉野・高松・土庄・直島)	11月	玉野
(イ) 四国地区観光情報交換会	8月	高知
	3月	松山

(4) 新たな観光資源開発のための旅行業法に基づく旅行業

ア 着地型（募集型企画）旅行商品の造成・販売

地域経済の活性化に寄与するため、第3種旅行業の資格を活用し、着地型旅行（ぶち旅プラン）の企画及び実施を行った。また、モデルコースの充実を図り、個人旅行の誘客や県外からの団体造成の促進に努めた。

商品造成 8 コース 86 名参加

(5) サンポート高松のにぎわいを創出する事業

ア サンポート高松のにぎわい創出事業

サンポート高松において、イベントを実施したい民間団体・企業等に対し、イベント等に関する相談や実施に向けた協力、トラブルになりやすい警備や交通関係のアドバイスをを行うとともに、イベントアイデアを公募し、開催に向け支援するなど、関係諸団体と協力し、サンポート高松のにぎわい創出に努めた。

(ア) 民間団体等主催のイベント募集及び共催等開催支援事業

採択 8 件 支援（共催）16 件 計24 件

(イ) ふれあいコンサート

3 月

イ 広報宣伝事業

ホームページ、電子メール、機関紙によりイベントカレンダーの情報を発信するとともに、近県で発行される情報誌等に広告を掲載し、サンポート高松のイメージアップや知名度向上を図った。

(ア) ホームページを活用した情報提供事業

(イ) 情報誌等での広告宣伝事業

5 回

(ウ) サンポート高松・高松ガイドブック（4か国語版）作成

ウ 調査企画事業

イベント等参加者に対する来場者アンケートの実施、サンポート高松に関する委員相互の意見交換会の実施、サンポート高松のにぎわい創出に必要な問題点の検討等を行った。

(ア) サンポート高松のにぎわい創出に関する調査企画委員会

12 月

(6) 観光案内所（香川・高松ツーリストインフォメーション）の運営・管理の受託

高松市及び香川県内を主とした観光案内を行うほか、宿泊案内、周辺地域及び全国の観光案内、交通機関等の各種案内に関する情報を提供することにより、本県を訪れる観光客等の利便性を図り、さらなる満足度を高めるとともに、観光客のニーズを的確に把握し、観光資源開発に活用した。

また、観光圏整備法第10条に基づく認定観光圏案内所への登録や、J N T O 認定外国人観光案内所 カテゴリー3（常時英語による対応が可能。その上で、英語を除く2以上の言語での案内が常時可能な体制がある。全国レベルの観光案内を提供。原則年中無休。W i - f i あり。ゲートウェイや外国人来訪者の多い立地。）に登録されたことから、日本語のほか、3か国語に対応できるよう従事者を配置し、近年増加している訪日外国人旅行者への対応を行った。

- ・場所 JR 高松駅構内
- ・運営日 毎日（年中無休）
- ・開所時間 9：00～20：00
- ・対応言語 日本語・英語・中国語・韓国語

利用件数 121,512件（うち外国人34,493件）

利用人数 76,226人（うち外国人18,313人）

（7）その他この法人の目的を達成するために必要な事業

ア 各種会議の開催

（ア）評議員会 6月 11月 3月

（イ）理事会 5月 11月 12月 2月 3月

（ウ）その他、役員・評議員に関すること

イ 賛助会員

（ア）賛助会員総会等の開催 7月 総会 1月 新年賀詞交歓会

（イ）賛助会員名簿等の整備

（ウ）賛助会員加入促進

（エ）その他賛助会員に関すること

ウ その他財団の必要なこと

（ア）経理業務

（イ）処務業務

（ウ）事務所維持管理

（エ）インターネットを活用した広報及び情報提供 4,924,887回

（オ）職員研修の実施

（カ）機関紙の発行

（キ）その他

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

3 評議員会に関する事項

定款及び諸規程の改廃、事業報告及び決算の承認、評議員及び役員の選任等に関する事項

議案事項	件 名	提出年月日	決議・承認 年 月 日
(第1回臨時)			
議案第1号	理事の選任について	H29. 4. 11	H29. 4. 25
(定時)			
議案第2号	平成28年度事業報告及び決算について	H29. 6. 27	H29. 6. 27
議案第3号	定款の一部改正について	H29. 6. 27	H29. 6. 27
議案第4号	評議員の選任について	H29. 6. 27	H29. 6. 27
議案第5号	役員の選任について	H29. 6. 27	H29. 6. 27
(第2回臨時)			
議案第6号	評議員の選任について	H29. 11. 20	H29. 12. 8
議案第7号	監事の選任について	H29. 11. 20	H29. 12. 8
(第3回臨時)			
議案第8号	定款の一部改正について	H30. 3. 22	H30. 3. 22
議案第9号	役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部改正について	H30. 3. 22	H30. 3. 22
議案第10号	評議員の選任について	H30. 3. 22	H30. 3. 22

4 評議員に関する事項

(1) 平成30年3月31日現在の評議員

役 職	氏 名	所属・役職名	就任年月日
評 議 員	芦 田 克 也	高松タクシー協会会長	H27. 6. 9
評 議 員	石 川 雅 章	高松琴平電気鉄道(株)執行役員管理本部統括部長	H28. 11. 18
評 議 員	今 西 照 章	(一社)香川県バス協会専務理事	H27. 6. 9
評 議 員	臼 杵 徹	琴平町観光協会専務理事	H25. 6. 24
評 議 員	岡 田 孝 浩	香川県農業協同組合中央会参事	H26. 4. 18
評 議 員	香 川 英 子	さぬき麺業(株)常務取締役	H25. 3. 26

役 職	氏 名	所属・役職名	就任年月日
評 議 員	川 畑 貢	香川県信用組合理事長	H25. 3. 26
評 議 員	桑 嶋 貴 史	(株) 中央代表取締役社長	H13. 3. 26
評 議 員	小 槌 和 志	(株) 百十四銀行取締役常務執行役員	H28. 6. 1
評 議 員	三 枝 邦 彦	(一社) 小豆島観光協会副会長	H28. 6. 1
評 議 員	竹 田 省 二	(株) 瀬戸内海放送顧問	H16. 4. 1
評 議 員	辻 村 武	(株) 高松三越代表取締役社長	H21. 4. 1
評 議 員	土 岐 敦 史	高松市創造都市推進局長	H28. 6. 1
評 議 員	徳 永 孝 明	高松ホテル旅館料理協同組合副理事長	H24. 4. 1
評 議 員	富 永 久	西日本放送 (株) 取締役総務局長兼経営企画部長	H28. 6. 1
評 議 員	西 村 周 子	(公社) 高松青年会議所直前理事長	H29. 6. 27
評 議 員	蓮 井 明 博	高松信用金庫理事長	H28. 6. 1
評 議 員	長谷川 雅 宏	四国電力 (株) 高松支店総務部長	H29. 12. 8
評 議 員	原 直 行	香川大学経済学部教授	H28. 6. 1
評 議 員	藤 澤 英 治	塩江温泉観光協会会長	H20. 4. 1
評 議 員	森 静 家	屋島山上観光協会会長	H26. 4. 18
評 議 員	森 惟 夫	香川県ゴルフ協会代議員	H20. 4. 1
評 議 員	安 松 延 朗	香川県交流推進部長	H27. 6. 9

(2) 評議員の辞任

役 職	氏 名	選任時の所属・役職名	辞任年月日
評 議 員	鎌 田 長 明	(公社) 高松青年会議所理事長	H29. 6. 27
評 議 員	川 地 敦 夫	四国電力 (株) 高松支店副支店長	H29. 6. 30
評 議 員	小 槌 和 志	(株) 百十四銀行常務執行役員	H30. 3. 31
評 議 員	辻 村 武	(株) 高松三越代表取締役社長	H30. 3. 31
評 議 員	土 岐 敦 史	高松市創造都市推進局長	H30. 3. 31
評 議 員	安 松 延 朗	香川県交流推進部長	H30. 3. 31

5 理事会に関する事項

事業報告及び決算並びに事業計画及び予算の承認、諸規程の改廃等に関する事項

議案事項	件 名	提出年月日	決議・承認 年 月 日
(第1回)			
議案第1号	平成28年度事業報告及び決算(案)について	H29. 5. 29	H29. 5. 29
議案第2号	定時評議員会の開催について	H29. 5. 29	H29. 5. 29
(第2回)			
議案第3号	平成29年度上半期事業報告について	H29. 11. 16	H29. 11. 16
議案第4号	臨時評議員会の開催について	H29. 11. 16	H29. 11. 16
議案第5号	資金運用規程の制定について	H29. 11. 16	H29. 11. 16
議案第6号	理事会運営規程の制定について	H29. 11. 16	H29. 11. 16
(第3回)			
議案第7号	平成29年度事業計画の変更及び予算の補正について	H29. 12. 20	H30. 1. 10
議案第8号	職員給与規程の一部改正について	H29. 12. 20	H30. 1. 10
議案第9号	職員退職手当支給規程の一部改正について	H29. 12. 20	H30. 1. 10
(第4回)			
議案第10号	臨時評議員会の開催について	H30. 2. 19	H30. 2. 28
議案第11号	情報公開規程の一部改正について	H30. 2. 19	H30. 2. 28
議案第12号	旅費規程の一部改正について	H30. 2. 19	H30. 2. 28
(第5回)			
議案第13号	平成30年度事業計画及び予算について	H30. 3. 29	H30. 3. 29
議案第14号	職員退職手当支給規程の一部改正について	H30. 3. 29	H30. 3. 29
議案第15号	臨時評議員会の開催について	H30. 3. 29	H30. 3. 29
議案第16号	専務理事の互選について	H30. 3. 29	H30. 3. 29

6 役員に関する事項

(1) 平成30年3月31日現在の役員

役 職	氏 名	所属・役職名	就任年月日
理 事 長	佐 野 正	(株) ジェイアール四国企画顧問	H26. 4. 18
副 理 事 長	三 矢 昌 洋	高松ホテル旅館料理協同組合理事長	H 6. 9. 27
副 理 事 長	新 池 伸 司	香川県理事(兼) 交流推進部次長	H28. 3. 2
副 理 事 長	長 井 一 喜	高松市創造都市推進局参事(観光・MICE推進担当)	H28. 6. 1
副 理 事 長	宮 武 寛	高松商工会議所常務理事・事務局長	H28. 4. 25
専 務 理 事	今 井 邦 郎	(公財) 高松観光コンベンション・ビューロー専務理事	H25. 4. 1
理 事	安 部 雅 之	(公財) 高松市文化芸術財団常務理事	H28. 6. 1
理 事	石 崎 庸 一	シンボルタワー開発(株) 専務取締役	H29. 6. 27
理 事	北 島 茂 俊	香川県社交飲食業生活衛生同業組合副理事長兼専務理事	H28. 6. 1
理 事	中 島 浩	ANAセールス(株) 高松支店長	H29. 4. 25
理 事	野 浪 健	(株) JTB中国四国高松支店長	H30. 3. 22
理 事	福 永 航 一	日本航空(株) 高松支店長	H28. 6. 1
理 事	古 川 康 造	高松中央商店街振興組合連合会理事長	H25. 6. 24
理 事	松 村 英 幹	高松商運(株) 代表取締役社長	H26. 5. 23
理 事	真 鍋 久 芳	香川県ホテル協会会長	H28. 6. 1
理 事	三 谷 雄 治	(公社) 香川県観光協会専務理事	H26. 5. 23
理 事	村 上 義 憲	セーラー広告(株) 代表取締役社長	H28. 6. 1
理 事	矢 野 昭 文	(株) 電通西日本高松支社長	H28. 4. 25
理 事	米 田 優	レクザムホール(香川県県民ホール) 館長	H28. 6. 1
監 事	山 田 径 男	(株) 香川銀行常務取締役	H29. 12. 8

(2) 役員の辞任

役 職	氏 名	選任時の所属・役職名	辞任年月日
理 事	山 口 晴 樹	シンボルタワー開発（株）専務取締役	H29. 6. 27
監 事	本 田 典 孝	（株）香川銀行常務取締役	H29. 12. 8
理 事	矢 田 博 嗣	（株）J T B 中国四国執行役員高松支店長	H30. 1. 31
副 理 事 長	新 池 伸 司	香川県交流推進部次長	H30. 3. 31
専 務 理 事	今 井 邦 郎	（公財）高松観光コンベンション・ビューロー専務理事	H30. 3. 31

(3) 役員の退任

役 職	氏 名	選任時の所属・役職名	退任年月日
監 事	石 川 豊	公認会計士	H30. 3. 28頃

Ⅱ 平成２９年度公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー決算書

１ 収 支 計 算 書

(平成２９年４月１日から平成３０年３月３１日まで)

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
(1) 基本財産運用収入			
基本財産利息収入	4,915,000	4,914,430	570
(2) 会費収入			
賛助会員会費収入	7,500,000	7,115,000	385,000
(3) 事業収入			
広告等収入	372,000	381,600	△ 9,600
使用料収入	120,000	199,700	△ 79,700
参加料収入	600,000	595,000	5,000
旅行商品販売収入	576,000	255,510	320,490
物品等販売収入	1,000,000	1,100,100	△ 100,100
(4) 補助金等収入			
国庫補助金収入	4,000,000	101,372	3,898,628
香川県補助金収入	9,200,000	8,816,991	383,009
高松市補助金収入	100,203,000	94,292,175	5,910,825
開催支援補助金事業収入	30,000,000	30,000,000	0
(5) 受託事業収入			
受託事業収入	17,600,000	16,017,398	1,582,602
(6) 特定資産運用収入			
退職給付引当金運用収入	10,000	4,380	5,620
(7) 雑収入			
雑収入	6,000	110,493	△ 104,493
事業活動収入計	176,102,000	163,904,149	12,197,851
2 事業活動支出			
(1) 事業費			
コンベンション推進事業費	17,464,000	17,434,596	29,404
開催支援補助金事業費	36,300,000	36,300,000	0
観光客誘致事業費	14,991,000	14,990,388	612
観光振興事業費	10,790,000	6,863,771	3,926,229
旅行業事業費	1,335,000	1,024,193	310,807
にぎわい創出事業費	4,377,000	4,172,454	204,546
観光施設管理運営事業費	17,600,000	16,017,398	1,582,602
人件費	25,800,000	22,167,401	3,632,599

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
(2) 管理費			
役員報酬	3,936,000	3,674,970	261,030
人件費	24,307,000	23,974,790	332,210
法人管理運営費	18,902,000	16,964,188	1,937,812
事業活動支出計	175,802,000	163,584,149	12,217,851
事業活動収支差額	300,000	320,000	△ 20,000
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
(1) 退職給付引当預金積立収入	1,982,000	1,844,301	137,699
投資活動収入計	1,982,000	1,844,301	137,699
2 投資活動支出			
(1) 敷金・保証金支出	0	20,000	△ 20,000
投資活動支出計	0	20,000	△ 20,000
投資活動収支差額	1,982,000	1,824,301	157,699
III 財務活動の部			
1 財務活動収入			
(1) 借入金収入			
短期借入金収入	4,000,000	0	4,000,000
財務活動収入計	4,000,000	0	4,000,000
2 財務活動支出			
(1) 借入金返済支出			
短期借入金返済支出	4,000,000	0	4,000,000
長期借入金返済支出	300,000	300,000	0
(2) 退職給付引当金組戻支出	1,982,000	1,844,301	137,699
財務活動支出計	6,282,000	2,144,301	4,137,699
財務活動収支差額	△ 2,282,000	△ 2,144,301	△ 137,699
IV 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、買掛金、未払金、未払費用、預り金及び未払消費税を含めており、当期末の残高は、次項に記載のとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産・負債の内訳 (単位：円)

科 目	前期末金額	当期末金額
1 流動資産		
現金預金	24,727,556	15,177,898
未収金	4,236,417	4,622,794
前払金	0	11,348
流動資産合計	28,963,973	19,812,040
1 流動負債		
買掛金	194,400	0
未払金	27,121,205	17,918,622
未払費用	178,680	254,555
預り金	774,788	1,210,890
未払消費税	694,900	427,973
流動負債合計	28,963,973	19,812,040
次期繰越収支差額	0	0

平成30年度 資金調達及び設備投資の見込みについて

1 資金調達の見込みについて

当期中における借入の予定及び借入先等

借入の予定		なし	
事業番号	借入先	金額	使途
		円	

2 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備等（除却又は売却を含む。）の予定の有無

設備投資の予定		なし	
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法又は取得資金の使途
		円	

２ 貸 借 対 照 表

(平成３０年３月３１日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	15,177,898	24,727,556	△ 9,549,658
未収金	4,622,794	4,236,417	386,377
前払金	11,348	0	11,348
棚卸資産	1,792,150	1,880,830	△ 88,680
流動資産合計	21,604,190	30,844,803	△ 9,240,613
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	44,312,500	44,312,500	0
投資有価証券	499,761,012	499,674,825	86,187
基本財産合計	544,073,512	543,987,325	86,187
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	25,650,781	23,806,480	1,844,301
供託金	3,000,000	3,000,000	0
特定資産合計	28,650,781	26,806,480	1,844,301
(3) その他固定資産			
建物	561,321	595,689	△ 34,368
建物附属設備	136,219	253,462	△ 117,243
器具備品	2,763,626	2,348,121	415,505
電話加入権	145,600	145,600	0
車両運搬具	1	1	0
保証金	60,000	0	60,000
その他固定資産合計	3,666,767	3,342,873	323,894
固定資産合計	576,391,060	574,136,678	2,254,382
資産合計	597,995,250	604,981,481	△ 6,986,231
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	0	194,400	△ 194,400
未払金	17,918,622	27,121,205	△ 9,202,583
未払費用	254,555	178,680	75,875
預り金	1,210,890	774,788	436,102
賞与引当金	1,372,905	1,086,773	286,132
未払消費税	427,973	694,900	△ 266,927
流動負債合計	21,184,945	30,050,746	△ 8,865,801
2 固定負債			
退職給付引当金	25,650,781	23,806,480	1,844,301
長期借入金（供託金分）	300,000	600,000	△ 300,000
固定負債合計	25,950,781	24,406,480	1,544,301
負債合計	47,135,726	54,457,226	△ 7,321,500

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
高松市出捐金	300,000,000	300,000,000	0
高松市基本財産積立金	91,906,000	91,906,000	0
香川県出捐金	150,000,000	150,000,000	0
民間団体寄付金	1,000,000	1,000,000	0
指定正味財産合計	542,906,000	542,906,000	0
(うち基本財産への充当額)	(542,906,000)	(542,906,000)	(0)
2 一般正味財産	7,953,524	7,618,255	335,269
(うち基本財産への充当額)	(1,167,512)	(1,081,325)	(86,187)
(うち特定資産への充当額)	(2,700,000)	(2,400,000)	(300,000)
正味財産合計	550,859,524	550,524,255	335,269
負債及び正味財産合計	597,995,250	604,981,481	△ 6,986,231

貸借対照表内訳表

(平成30年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	公益目的事業						法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	公5	公6		
I 資産の部								
1 流動資産								
現金預金	292,721	7,222,000	1,295,494			2,794,676	3,330,782	15,177,898
未収金	1,546,230		101,372	4,958	61,492		104,283	4,622,794
前払金							11,348	11,348
棚卸資産	1,429,650		362,500					1,792,150
流動資産合計	3,268,601	7,222,000	1,759,366	4,958	61,492	2,794,676	3,446,413	21,604,190
2 固定資産								
(1) 基本財産								
定期預金								
投資有価証券	149,939,297		149,891,703					44,312,500
基本財産合計	149,939,297	0	149,891,703	0	0	0	0	499,761,012
(2) 特定資産								
退職給付引当資産								
供託金				3,000,000			3,795,830	25,650,781
特定資産合計	0	0	0	3,000,000	0	0	3,795,830	3,000,000
(3) その他固定資産								
建物								
建物附属設備							561,321	561,321
器具備品	1,633,995	13,855	27,706	13,855	13,855		136,219	136,219
電話加入権	22,750	13,650	40,950	13,650	13,650		1,060,360	2,763,626
車両運搬具							36,400	145,600
保証金							1	1
その他固定資産合計	1,656,745	27,505	68,656	27,505	27,505		60,000	60,000
固定資産合計	151,596,042	27,505	149,960,359	3,027,505	27,505	0	1,854,301	3,666,767
資産合計	154,864,643	7,249,505	151,719,725	3,032,463	88,997	2,794,676	5,650,131	576,391,060
							9,096,544	597,995,250

(単位：円)

科 目	公益目的事業						法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	公5	公6		
II 負債の部								
1 流動負債								
未払金	1,838,951	7,222,000	1,396,866	4,958	61,492	2,332,260 37,116	2,015,411 217,439	17,918,622 254,555
未払費用							1,210,890	1,210,890
預り金							1,090,169	1,372,905
賞与引当金							2,673	427,973
未払消費税								
流動負債合計	1,838,951	7,222,000	1,396,866	4,958	61,492	425,300	4,536,582	21,184,945
2 固定負債								
退職給付引当金								
長期借入金（供託金分）								
固定負債合計	0	0	0	300,000	0	0	3,795,830	25,650,781
負債合計	1,838,951	7,222,000	1,396,866	304,958	61,492	2,794,676	8,332,412	47,135,726
III 正味財産の部								
1 指定正味財産								
高松市出捐金	99,594,000		99,641,000					300,000,000
高松市基本財産積立金								91,906,000
香川県出捐金	50,000,000		50,000,000					150,000,000
民間団体寄付金								1,000,000
指定正味財産合計	149,594,000 (149,594,000)	0	149,641,000 (149,641,000)	0	0	0	0	542,906,000 (542,906,000)
2 一般正味財産	3,431,692 (345,297)	27,505	681,859 (250,703)	2,727,505 (2,700,000)	27,505	0	764,132	7,953,524 (1,167,512)
正味財産合計	153,025,692	27,505	150,322,859	2,727,505	27,505	0	764,132	550,859,524
負債及び正味財産合計	154,864,643	7,249,505	151,719,725	3,032,463	88,997	2,794,676	9,096,544	597,995,250

3 正 味 財 産 増 減 計 算 書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	5,000,617	5,007,677	△ 7,060
特定資産運用益			
退職給付資産運用益	4,380	5,927	△ 1,547
受取会費			
賛助会員受取会費	7,115,000	7,005,000	110,000
事業収入			
広告等収入	381,600	371,600	10,000
使用料収入	199,700	225,400	△ 25,700
参加料収入	595,000	566,500	28,500
旅行業販売収入	255,510	388,100	△ 132,590
物品等販売収入	1,100,100	1,005,010	95,090
受取補助金			
受取国庫補助金	101,372	376,260	△ 274,888
受取香川県補助金	8,816,991	8,136,000	680,991
受取高松市補助金	94,292,175	101,272,861	△ 6,980,686
受取開催支援事業補助金	30,000,000	29,906,000	94,000
受託事業収入			
観光施設管理運営事業収入	16,017,398	16,485,084	△ 467,686
雑収入			
雑収入	150,493	256,156	△ 105,663
経常収益計	164,030,336	171,007,575	△ 6,977,239
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	21,560,766	32,833,247	△ 11,272,481
福利厚生費	3,672,267	5,758,687	△ 2,086,420
会議費	610,069	571,304	38,765
旅費交通費	5,976,310	6,153,351	△ 177,041
報酬	762,479	519,822	242,657
通信運搬費	53,004	63,418	△ 10,414
消耗品費	596,299	913,716	△ 317,417
印刷製本費	5,202,900	6,229,980	△ 1,027,080
賃借料	668,397	611,825	56,572
支払負担金	17,282,847	18,604,833	△ 1,321,986
支払補助金	42,220,000	43,331,000	△ 1,111,000
雑費	65,131	38,433	26,698
広告宣伝費	1,790,500	3,283,185	△ 1,492,685
委託料	7,221,088	8,089,796	△ 868,708
臨時雇賃金等	6,594,000	4,621,754	1,972,246
仕入費	963,647	1,090,372	△ 126,725
報償費	1,355,636	416,858	938,778

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
修繕費	2,808	1,262,520	△ 1,259,712
燃料費	3,908	0	3,908
保険料	7,762	13,323	△ 5,561
租税公課	802,700	811,477	△ 8,777
退職給付費用	0	1,951,529	△ 1,951,529
支払手数料	128,684	341,697	△ 213,013
備品購入費	253,000	14,210	238,790
支払利息	4,503	7,341	△ 2,838
新聞図書費	42,176	159,248	△ 117,072
諸会費	300,000	300,000	0
減価償却費	372,112	356,812	15,300
賞与引当金繰入	282,736	1,086,773	△ 804,037
管理費			
給料手当	17,406,793	7,433,741	9,973,052
福利厚生費	3,636,923	1,821,788	1,815,135
会議費	946,944	905,021	41,923
旅費交通費	0	1,130	△ 1,130
報酬	13,140	18,682	△ 5,542
通信運搬費	1,381,359	1,455,951	△ 74,592
消耗品費	645,558	579,794	65,764
印刷製本費	309,000	501,780	△ 192,780
賃借料	10,701,391	10,756,805	△ 55,414
支払負担金	196,300	142,000	54,300
委託料	513,432	337,284	176,148
光熱水費	1,124,172	1,081,663	42,509
役員報酬	3,674,970	3,636,100	38,870
修繕費	32,500	565,008	△ 532,508
燃料費	40,000	60,000	△ 20,000
保険料	171,360	186,870	△ 15,510
租税公課	4,750	39,350	△ 34,600
退職給付費用	1,844,301	0	1,844,301
支払手数料	26,306	28,068	△ 1,762
備品購入費	26,930	129,804	△ 102,874
新聞図書費	93,312	80,024	13,288
諸会費	737,734	769,734	△ 32,000
減価償却費	281,994	272,831	9,163
賞与引当金繰入	1,090,169	0	1,090,169
経常費用計	163,695,067	170,239,939	△ 6,544,872
評価損益等調整前当期経常増減額	335,269	767,636	△ 432,367
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	335,269	767,636	△ 432,367

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	335,269	767,636	△ 432,367
一般正味財産期首残高	7,618,255	6,850,619	767,636
一般正味財産期末残高	7,953,524	7,618,255	335,269
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用損益	86,187	86,187	0
一般正味財産への振替額	△ 86,187	△ 86,187	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	542,906,000	542,906,000	0
指定正味財産期末残高	542,906,000	542,906,000	0
III 正味財産期末残高	550,859,524	550,524,255	335,269

正味財産増減計算書内訳表

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	共通	
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益								
基本財産受取利息、								
特定資産運用益	1,760,562		1,978,381				1,261,674	5,000,617
退職給付資産運用益								
受取会費								
賛助会員受取会費	2,373,000		2,371,000				2,371,000	7,115,000
事業収入								
広告等収入								
使用料収入			199,700					381,600
参加料収入			22,000					199,700
旅行業販売収入				255,510				595,000
物品等販売収入	212,550		887,550					255,510
受取補助金								
受取国庫補助金			101,372					101,372
受取香川県補助金	3,599,230				1,867,408		3,350,353	8,816,991
受取高松市補助金	9,529,816	6,300,000	16,330,037	1,068,683	2,305,046		15,194,118	94,292,175
受取開催支援事業補助金		30,000,000						30,000,000
受託事業収入								
観光施設管理運営事業収入						16,017,398		16,017,398
雑収入								
雑収入							150,493	150,493
経常収益計	17,475,158	36,300,000	21,890,040	1,324,193	4,172,454	16,017,398	22,177,145	164,030,336

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	共通	
(2) 経常費用								
事業費								
給料手当	397,220					2,576,624	18,984,142	21,560,766
福利厚生費	3,662,449		205,330			489,008	3,183,259	3,672,267
会議費	224,488		2,254,715		1,545	5,974		610,069
旅費交通費	28,425		464,365		73,626	59,146		5,976,310
報酬	465,339		24,579					762,479
通信運搬費	1,796,580				397	130,563		53,004
消耗品費	244,715		1,073,520	783,000	1,549,800			596,299
印刷製本費	5,788,912		342,284		66,908	14,490		5,202,900
賃借料	150,000		9,485,895	8,040	2,000,000			668,397
支払負担金	34,415	36,300,000	5,720,000		50,000			17,282,847
支払補助金	1,287,563							42,220,000
雑費	1,824,400		30,716		428,450			65,131
広告宣伝費			74,487					1,790,500
委託料			96,455			5,300,233		7,221,088
臨時雇賃金等						6,594,000		6,594,000
仕入費	63,180		680,633	219,834				963,647
報償費			1,355,636					1,355,636
修繕費			2,808					2,808
燃料費	3,548		360					3,908
保険料	2,000			5,762				7,762
租税公課						802,700		802,700
支払手数料	53,542		67,876	3,054	1,728	2,484		128,684
備品購入費	253,000							253,000
支払利息				4,503				4,503
新聞図書費								42,176
諸会費	300,000							300,000
減価償却費	279,751	18,472	36,945	18,472	18,472			372,112
賞与引当金繰入							282,736	282,736

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	共通	
管理費								
給料手当							17,406,793	17,406,793
福利厚生費							3,636,923	3,636,923
会議費							946,944	946,944
報酬							13,140	13,140
通信運搬費							1,381,359	1,381,359
消耗品費							645,558	645,558
印刷製本費							309,000	309,000
賃借料							10,701,391	10,701,391
支払負担金							196,300	196,300
委託料							513,432	513,432
光熱水費							1,124,172	1,124,172
役員報酬							3,674,970	3,674,970
修繕費							32,500	32,500
燃料費							40,000	40,000
保険料							171,360	171,360
租税公課							4,750	4,750
退職給付費用							1,844,301	1,844,301
支払手数料							26,306	26,306
備品購入費							26,930	26,930
新聞図書費							93,312	93,312
諸会費							737,734	737,734
減価償却費							281,994	281,994
賞与引当金繰入							1,090,169	1,090,169
経常費用計	16,859,527	36,318,472	21,916,604	1,042,665	4,190,926	16,017,398	22,450,137	163,695,067
評価損益等調整前当期経常増減額	615,631	△ 18,472	△ 26,564	281,528	△ 18,472	0	△ 272,992	335,269
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	615,631	△ 18,472	△ 26,564	281,528	△ 18,472	0	△ 272,992	335,269

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	共通	
2 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額								
当期一般正味財産増減額	615,631	△ 18,472	△ 26,564	281,528	△ 18,472	0	1,086,773	△ 1,086,773
一般正味財産期首残高	2,816,061	45,977	708,423	2,445,977	45,977	0	813,781	△ 1,312,163
一般正味財産期末残高	3,431,692	27,505	681,859	2,727,505	27,505	0	293,326	764,132
II 指定正味財産増減の部								
基本財産運用損益	40,562		35,881				9,744	86,187
一般正味財産への振替額	△ 40,562		△ 35,881				△ 9,744	△ 86,187
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	149,594,000	0	149,641,000	0	0	0	243,671,000	542,906,000
指定正味財産期末残高	149,594,000	0	149,641,000	0	0	0	243,671,000	542,906,000
III 正味財産期末残高	153,025,692	27,505	150,322,859	2,727,505	27,505	0	243,964,326	764,132
								550,859,524

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的債券については、償却原価法（定額法）により評価している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法により評価している。

(3) 引当金の経常基準について

・退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生しているとみとめられる額を計上している。

なお、退職給付債務は、期末自己都合要支給額に基づいて計算し、会計基準変更時差異は、平成23年度より10年で費用処理することとしている。

・賞与引当金

職員に対して支給する賞与に充てるため、支給見込額に基づき当決算期に見合う額を計上している。

(4) 消費税及び地方消費税の処理について

税込方法によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	499,674,825	105,846	19,659	499,761,012
定期預金	44,312,500			44,312,500
小 計	543,987,325	105,846	19,659	544,073,512
特定資産				
退職給付引当資産	23,806,480	1,844,301		25,650,781
供託金	3,000,000			3,000,000
小 計	26,806,480	1,844,301	0	28,650,781
合 計	570,793,805	1,950,147	19,659	572,724,293

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に 対応する額）
基本財産				
投資有価証券	499,761,012	(499,139,500)	(621,512)	—
定期預金	44,312,500	(43,766,500)	(546,000)	—
小 計	544,073,512	(542,906,000)	(1,167,512)	—
特定資産				
退職給付引当資産	25,650,781	—	—	(25,650,781)
供託金	3,000,000	—	(2,700,000)	(300,000)
小 計	28,650,781	—	(2,700,000)	(25,950,781)
合 計	572,724,293	(542,906,000)	(3,867,512)	(25,950,781)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（事務所間仕切）	652,968	91,647	561,321
建物附属設備（電気設備等）	165,672	29,454	136,218
建物附属設備（事務所簡易間仕切）	318,600	318,599	1
器具備品（電話機一式）	997,500	872,812	124,688
器具備品（事務所ブラインド）	143,856	23,978	119,878
器具備品（全国大会等情報ＤＢ一式）	1,229,896	512,456	717,440
器具備品（開催情報及び住所録ＤＢ一式）	918,000	15,300	902,700
器具備品（手ぶら観光カウンター）	980,640	81,720	898,920
電話加入権	145,600	0	145,600
車両運搬具（自動車）	1,293,950	1,293,950	0
車両運搬具（カーナビ一式）	119,600	119,599	1
保証金（ＥＴＣＰＣデポジット）	60,000	0	60,000
合 計	7,026,282	3,359,515	3,666,767

5 満期保有目的債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国債			
第328回利付国債（10年）	50,014,988	51,760,000	1,745,012
地方債			
平成25年第7回北海道公募公債	49,924,715	51,965,000	2,040,285
第31回1号宮城県公募公債	50,124,864	51,445,000	1,320,136
第406回大阪府公募公債	49,900,854	49,745,000	△ 155,854
平成21年度第8回愛知県公募公債	99,966,988	102,080,000	2,113,012
北海道平成21年度第12回公募公債	99,924,309	102,395,000	2,470,691
第392回大阪府公募公債	49,904,294	50,896,000	991,706
横浜市平成19年度第17回事業公債	50,000,000	50,131,500	131,500
合 計	499,761,012	510,417,500	10,656,488

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
出捐金						
高松市出捐金	高松市	300,000,000			300,000,000	指定正味財産
香川県出捐金	香川県	150,000,000			150,000,000	指定正味財産
寄付金						
民間団体寄付金	高松タクシー協会	1,000,000			1,000,000	指定正味財産
補助金						
基本財産積立金	高松市	91,906,000			91,906,000	指定正味財産
運営事業補助金	高松市	0	94,292,175	94,292,175	0	流動資産
全国大会等開催補助事業補助金	高松市	0	30,000,000	30,000,000	0	流動資産
香川県サンポート高松にぎわい創出事業補助金	香川県	0	8,816,991	8,816,991	0	流動資産
国庫補助金	環境省	0	101,372	101,372	0	流動資産
合 計		542,906,000	133,210,538	133,210,538	542,906,000	

7 固定負債の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
固定負債				
退職給付引当金	23,806,480	1,844,301		25,650,781
長期借入金	600,000		300,000	300,000
合 計	24,406,480	1,844,301	300,000	25,950,781

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	86,187
合 計	86,187

附 属 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の記載事項に同じ。

2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
流動負債					
賞与引当金	1,086,773	1,372,905	1,086,773		1,372,905
固定負債					
退職給付引当金	23,806,480	1,844,301			25,650,781
合 計	24,893,253	3,217,206	1,086,773	0	27,023,686

4 財 産 目 録

(平成30年3月31日現在)

(単位：円)

科目等	使用目的等	金額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金手許有高	運転資金として	0
普通預金 百十四銀行高松市役所支店 (898)	運転資金として	2,226,855
普通預金 百十四銀行高松市役所支店 (116)		11,945,905
普通預金 香川銀行本店		529,373
普通預金 四国労働金庫本店営業部		411,046
普通預金 高松信用金庫本店営業部		1,000
普通預金 香川県信用組合本店営業部		62,339
普通預金 香川県農業協同組合本店		1,000
普通預金 みずほ銀行高松支店		380
未収金 香川県ほか	未収補助金ほか	4,622,794
棚卸資産 観光名刺 (台紙)	高松市の観光地の宣伝のため販売している	362,500
棚卸資産 コングレスバック		1,429,650
前払金 全国民営職業紹介事業協会	責任者講習会受講料	11,348
流動資産合計		21,604,190
2 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金 百十四銀行高松市役所支店	公益目的保有財産であり、運用益を	10,000,000
定期預金 香川銀行本店	公益目的事業の財源として使用している	10,000,000
定期預金 高松信用金庫本店営業部		10,000,000
定期預金 香川県信用組合本店営業部		10,000,000
定期預金 四国労働金庫本店営業部		4,312,500
投資有価証券 第328回利付国債 (10年)		50,014,988
投資有価証券 平成25年第7回北海道公募公債		49,924,715
投資有価証券 第31回1号宮城県公募公債		50,124,864
投資有価証券 第406回大阪府公募公債		49,900,854
投資有価証券 平成21年度第8回愛知県公募公債		99,966,988
投資有価証券 北海道平成21年度第12回公募公債		99,924,309
投資有価証券 第392回大阪府公募公債		49,904,294
投資有価証券 横浜市平成19年度第17回事業公債		50,000,000
基本財産合計		544,073,512
(2) 特定資産		
退職給付引当資産		
定期預金 大和ネクスト銀行ビジャモン支店	退職金の支払いに備えた引当資産	10,000,000
定期預金 香川県農業協同組合本店		10,000,000
定期預金 みずほ銀行高松支店		5,650,781
供託金		
第三種旅行業 高松法務局	旅行業法に基づく営業保証金	3,000,000
特定資産合計		28,650,781
(3) その他固定資産		
建物 事務所間仕切 (軽量鉄骨壁)	公益目的保有財産であり、公益目的事業、	561,321
建物附属設備 電気設備等	法人管理業務で使用している	136,218
建物附属設備 事務所簡易間仕切		1
器具備品 電話主装置、電話機9台等一式		124,688
器具備品 事務所遮光用ブラインド (金属製)		119,878
器具備品 全国大会等情報データベース一式		717,440
器具備品 開催情報及び住所録データベース		902,700
器具備品 手ぶら観光受付カウンター		898,920
電話加入権 事務所 2回線		145,600
車両運搬具 カーナビゲーションシステム一式		1
保証金 ETCパーソナルカードデポジット		60,000
その他固定資産合計		3,666,767
固定資産合計		576,391,060
資産合計		597,995,250

(単位：円)

科目等		使用目的等	金額
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	高松市ほか	高松市補助金返納分ほか	17,918,622
未払費用	N T T 西日本ほか	販売目的以外の継続する役務の提供等の未払分	254,555
預り金	社会保険料本人負担分ほか		1,210,890
賞与引当金	平成 2 9 年度分	規程に基づく職員賞与の当期負担分	1,372,905
未払消費税	観光案内所運営受託事業	受託事業収益に含まれる消費税等	427,973
流動負債合計			21,184,945
2 固定負債			
退職給付引当金		退職金の支払いに備えた引当金	25,650,781
長期借入金	香川県信用組合本店営業部	旅行業営業保証金供託のための借入金	300,000
固定負債合計			25,950,781
負債合計			47,135,726
正味財産			550,859,524

監 査 報 告 書

平成30年5月11日

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー
理事長 佐 野 正 殿

公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー

監 事 山 田 径 男 ㊟

私たちは、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度における会計及び業務の監査を行いましたので、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類及び収支計算書の正確性を検討いたしました。
- (2) 事業報告については、理事会及びその他の会議に出席し、担当理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、それらの附属明細書及び財産目録、並びに収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、当法人の財務状況並びに収支の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書及び附属明細書の内容は真実であり、法令若しくは定款の規定に違反するが如き事実はないことを認めます。